

南豫被服株式会社

～確かな品質と技術力で信頼に応えて～



被災時の状況



被災した工場内



復旧後の外観



復旧後の工場と導入した設備



🏠 企業の基礎情報 / PRポイント

- 住所：（本社）愛媛県八幡浜市1354
（工場）愛媛県大洲市田口甲788
- 連絡先：0893-24-2188
- 事業内容：繊維工業
- 代表者名：代表取締役 山本 義勝
- 企業のPRポイント：昭和23年設立。過去には長野五輪で使用された日本選手団のユニホームも受注。現在は大洲市の工場で、全国の学校で使用されるブラウスの委託縫製を中心に行っています。

🕒 被災前後の状況

- 工場は過去の水害を踏まえてかさ上げしていましたが、今般の水害では床上1.2mまで浸水し、1階施設・設備に大きな被害を受けました。
- 1階で裁断、2階で縫製したあと、1階でアイロン仕上げをしていましたが、水害で1階部分が使用不能になりました。また、工場隣の技能実習生が居住している寮でも、二段ベットが浸水する被害を受けました。
- 以前は百貨店などのブランド等向けに裁断から仕上げまで一貫して手掛けていましたが、10年ほど前から学生服の縫製加工中心に転換していたところ、今回の水害が起きたため、1階の裁断機などは復旧させずに縫製に必要な部分だけを復旧して事業を再開しました。

🛠️ 活用した支援策他

- グループ補助金では、水没したプレス機の入替や、トイレ・床の一部の修繕などに活用しました。また、新分野事業として復旧に代えて新たなミシンを導入し、需要に対応出来る環境を整えました。
- 復興事業計画に取り組むグループ内の取引先と再開可能な業態への転換などについて相談しながら支援を受けられたことが事業継続への後押しとなりました。
- 被災後は1か月以上稼働できなかったため従業員に休んでもらい、その間の給与支払いに雇用調整助成金を活用しました。

🗣️ 事業者からのメッセージ

- 被災直後は廃業も考えましたが、グループ補助金等の支援策を紹介していただき、取引先など多くの皆様にご支援いただいて事業を再開することができました。大変感謝しています。
- 長年勤めてくれていた方を中心に一部従業員に退職してもらうことになったことが一番残念でした。今後は雇用の維持に努めていきたいと考えています。
- 縫製業は多くの人の手を経て完成するものです。今回ご支援いただいた方々への感謝を忘れず、従業員の気持ちを大切にしていきたいと思えます。



山本代表取締役